

# こどもエコクラブ 活動報告集2014



(こどもエコクラブ全国フェスティバル 2014)



秋田県

# 秋田県の環境に関する マスコットを紹介します



## スギッチ

「スギッチ」は、秋田わか杉国体・秋田わか杉大会で大活躍をした後、秋田県のマスコットとして県職員になり、秋田県のPRや県政の広報、県民の元気を応援する活動をしています。

秋田県マスコットとしての活動が認められ、2008年12月には主任に昇任しました。



## 森っち

秋田県水と緑のマスコットです。“森の友だち”という意味から「森っち」と命名しました。

森っちのデザインは、天然秋田スギの周りにつどい、ともに手を取り合い、身近な自然の中で「命の大切さ」を実感しているようすを表現しています。



## あすぴー

地球温暖化防止を県民総参加で推進するためのマスコットキャラクターです。あすぴー(あきた、ストップ・ザ・温暖化、ピープル、みんなで!)を見かけたら、「地球温暖化をなんとかしなくっちゃ!」と思って、具体的な行動・活動に結びつけていきましょう。

秋田(AKITA)の「A」をモチーフにし、地球温暖化防止のために地球を抱きかかえ冷やしている姿をデザインしています。



## クリンちゃん

秋田県の環境美化のマスコットです。花(ハート)・緑(葉)・夢(星)を図案化したもので、これらのマークを広げた両腕の中に抱える構図となっています。広げた両腕から飛び出そうとするマークは、私たち自らの手で美化に取り組むことにより、未来に向かって秋田県の環境が向上していくことをイメージしています。



## せいりゅう 清龍くん

八郎湖水質保全キャラクターです。イラストの原案と名付け親は地元の小学生です。「八郎太郎伝説」に登場する、八郎瀧に住んでいたと言われる「龍」をモチーフにしています。

八郎瀧の水質を良くしようと、さまざまな活動に取り組む人々の共通の「シンボル」として、パンフレットなどに活用されています。

# はじめに

平成7年度からスタートした「こどもエコクラブ」は、平成26年度で19年をむかえました。平成26年度は秋田県内で33のクラブが登録し、2,168人(平成27年2月2日現在)のこどもたちが環境に関わるいろいろな活動を行いました。この冊子は、各こどもエコクラブから今年度行った活動について報告をいただき、それらをまとめたものです。報告には、みなさんの今後の活動の参考となるところがたくさんあります。これからの活動がさらに広く深くなるための手助けになれば幸いです。また、各学校におかれましても、様々な学習の時間などに活用されることを期待しています。



こどもエコクラブ  
イメージキャラクター

**エコまる**

# 目次

こどもエコクラブってなに？ 4

みんなが応援しています！ 5

## こどもエコクラブ活動報告

マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ…………… 6

ひろおもてエコクラブ…………… 6

せいらいエコクラブ…………… 7

チピッ子クラブ…………… 7

浜田小エコクラブ…………… 8

秋田市立戸島小学校…………… 8

秋田市立岩見三内中学校…………… 9

若駒学童クラブ…………… 9

イオン土崎港店チアーズクラブ…………… 10

あきたみどりフレンド…………… 10

秋田市立秋田東中学校 科学部…………… 11

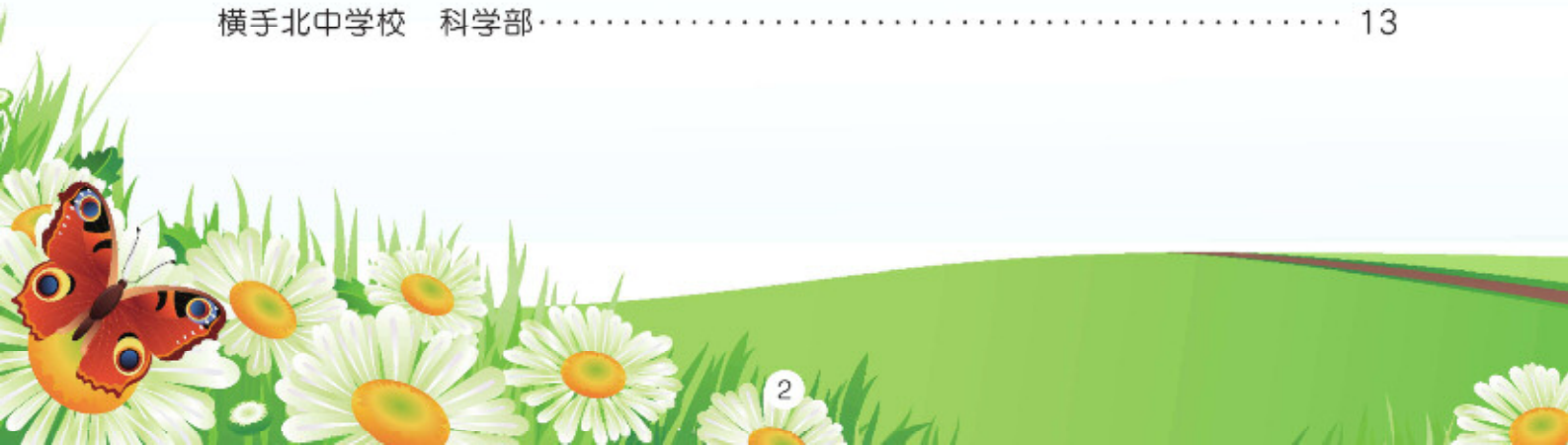
泉児童センター…………… 11

土崎児童館…………… 12

わくわくエコ工房…………… 12

能代市立第四小学校 4年部…………… 13

横手北中学校 科学部…………… 13



西目シーガルエコクラブ	14
潟上市立飯田川小学校	14
大仙市立角間川小学校 こどもエコクラブ	15
どれみ保育園エコクラブ	15
北秋田市立鷹巣南小学校 南っ子エコクラブ	16
合川エコクラブ	16
平沢小学校 サイエンスクラブ	17
金浦小 科学クラブ	17
井川小学校 自然観察クラブ	18
美郷町立美郷中学校 総合科学部	18

平成26年度に環境分野で受賞した学校を紹介します 19

かべしんぶん 20

こどもエコクラブ交流会について 22

あきたの環境を考える体験について 24

「環境の達人」を派遣しています 26

平成26年度登録クラブ一覧 28

◎付録 29



# こどもエコクラブってなに？

こどもエコクラブは、幼児から高校生まで、だれでも参加できる環境活動のクラブです。  
平成26年度は、全国で2,158クラブ、101,835人(平成27年2月2日現在)のこどもたちが参加し、活動しました

＊主な活動は「**エコロジカルあくしょん**」「**エコロジカルとれーにんぐ**」の2つです。



各クラブが自主的に行う活動で、ゴミ探検、水生生物調査、自然観察、リサイクル活動など、環境に関することなら何でも「あくしょん」になります。



ニュースレターで紹介されるもので、毎日の生活の中で地球や環境のことを楽しく考えるプログラムです。

＊クラブの会期は特に定めません。いつでも登録して活動が始められます。

＊会員になると、全国事務局から、活動に役立つヒントがいっぱいの「メンバー手帳」が送られます。また、平成27年度は、希望するメンバー・サポーターに20周年限定バッジが配布されます。

＊自分たちの活動報告をウェブサイトに掲載し(非掲載の選択も可)、多くの仲間に伝えることができます。お互いのクラブ同士の交流を深め、活動の幅を広げることができます。

＊活動を報告すると、スタンプがもらえます。スタンプを5個集めると、「アースレンジャー認定証」が授与されます。また、継続すると3年で銀バッジ、6年で金バッジがもらえます。



金・銀バッジ



アースレンジャー認定書

＊会員になるには、すでに登録されているクラブの会員になってもよいですし、仲間を集めて新しいクラブをつくってもよいです。入会金・会費は無料です。

## こどもエコクラブの作り方

### 仲間を集めます

2人以上の仲間を集めます。  
(3歳～18歳)

### サポーターを決めます

クラブ活動を支えてくれる大人(20歳以上)のサポーターを決めます。

### 登録します

こどもエコクラブ全国事務局に届ければ、クラブとして登録されます。

### 問い合わせ先

- (公財)日本環境協会 こどもエコクラブ全国事務局……☎03-5643-6251  
こどもエコクラブウェブサイト……<http://www.j-ecoclub.jp/>
- 秋田県生活環境部環境管理課……☎018-860-1571

# みんなが応援しています!

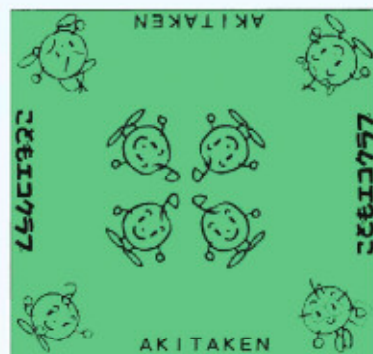
こどもエコクラブの活動を、県やこどもエコクラブ全国事務局などが応援しています。

## 秋田県から

### \* バンダナの提供

会員の活動意欲と会員同士の連帯感を高めるために、新規会員にこどもエコクラブのバンダナを提供します。

(平成27年度からは、「こどもエコクラブメンバーズバッジ」、「エコまるシャープペンシル」、「バンダナ」の3つから1つを選べるようになります。)



### \* 活動報告集の作成・配付

こどもエコクラブ活動の情報交換のため、その年度の活動をとりまとめた活動報告集(本冊子)を作成・配付します。

### \* 環境調査活動を行う際の機材の提供や講師の派遣

エコクラブで、酸性雨調査、水生生物による水質判定、パックテストによる河川湖沼の水質調査等、環境調査活動を行う際の機材を提供します。

また、調査器具や薬品の扱い方や判定方法などの専門的な話ができる講師も派遣します。

### \* 環境学習会等への講師の派遣(「環境の達人」)

学校や各種団体が主催する環境学習会や研修会等へ環境カウンセラーなどの講師を派遣します。

## こどもエコクラブ全国事務局から

### \* こどもエコクラブ全国フェスティバルへの参加

1年間の活動内容をまとめた壁新聞の募集に応募した秋田県のクラブの中から、1つのクラブが選ばれ、こどもエコクラブ全国フェスティバルに参加します。

今年度は、秋田市のマックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブが、平成27年3月29日に早稲田大学で開催される「こどもエコクラブ全国フェスティバル2015」に参加し、全国から集まった仲間達と交流します。

### \* 保険について

こどもエコクラブ全国事務局は、こどもエコクラブに登録したメンバー、サポーターを「賠償責任保険」の対象として、保険の手続きを行っています。

### \* こどもエコクラブパートナーシッププログラム

民間企業や財団による環境活動に関する資料や環境活動プログラムの提供などを行っています。詳しくは、こどもエコクラブ全国事務局のホームページをご覧ください。

こどもエコクラブウェブサイト <http://www.j-ecoclub.jp/>

# こどもエコクラブ活動報告



## マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ

秋田市

エコクラブ活動は15年目です。毎年続けていることは「壁新聞づくり」です。毎年の活動を振り返り、まとめることは、次の学びにつながるからです。横手市や美郷町にもメンバーが増え、53名。

春の自然観察会で「カタクリ」を知り、夏は秋田と岩手の県境の稜線を歩き、秋は高清水公園の歴史と自然、冬は雪遊びを通して秋田の自然を楽しみました。今年度のテーマである「太陽」については、秋田高専でソーラーカーを見て、ふれて、教えてもらいました。秋田大学ものづくりセンターで「手作りソーラーカー」を作って、走らせることができました。太陽から地球に注がれる光を利用して、私たちの命がつながっていることを学ぶことができました。

先輩たちの活動を引き継ぎつつ、新しい活動も始めています。「水生生物調査」や「ものづくり」です。自分たちで、活動を提案できるようになれるといいなと思います。



春：高尾山で自然観察会



夏：秋田と岩手の県境・峰越口登山道を歩いた!!



秋：高清水公園で自然観察会



冬：壁新聞づくりの合間に雪遊び!



## ひろおもてエコクラブ

秋田市

私たちは秋田市の広面地区を主な活動地域とし、今年は、下は幼稚園、上は小学5年生の、総勢24名で活動しています。続けて活動している子が友達を誘ってくれたりしたので、今年は予想以上の大人数でのスタートとなりました。

学校近くの山での自然観察、地域のクリーンアップ、ホテルや仁別での水辺の観察など、身近な場所の季節毎の変化を中心に毎月活動しています。

また、意外に好評なのが、路線バスに乗っての大森山動物園への遠足です。いつもは自家用車ばかりなので、自分で乗車券を握りしめ、他のお客さんに気をつかいながらもワクワク気分でのバス移動!大きな動物へのえさやり体験にドキドキしたりの1日です。

毎年、1年間の活動を壁新聞にまとめ、小学校の学習発表会の時に、地域の皆さんに見ていただいているのも私たちのクラブの特徴です。各自自分の思い出に残っていることなどカードにまとめ、3~4年生くらいからのメンバーが集まって相談しながら新聞を完成させます。

方針がまとまるまでがかなり大変ですが、最後にはそれぞれの特技を発揮しなかなのできばえます。







## せいいエコクラブ

秋田市

今年度は、9月6日・7日に開催された、第14回あきたエコ&リサイクルフェスティバルのオープニングに参加するチャンスをいただいた。日頃取り組んでいる小さなエコ活動をプラカードと大好きな歌にのせて届けることにした。家庭でも家族一緒だから出来るエコの数々も含めて、こまめな節電・節水、そして夏の涼としてのうちわもアピールした。これらを秋田の唄として人気の高い「あんべいいな」の曲にあわせ、会場の皆さんに発表し、最後に手作りのうちわを来賓の方々にプレゼントさせていただいた。

子どもたちにとって、あたりまえのように心がけていることを発表することで、より意欲が増し、エコに興味ももち応援にきてくださった家族の方々とさらに工夫してエコ生活を楽しみながら続けてほしいと思っている。

今回のエコフェスでは、子どもたちが身近に感じられるコーナーも多く、うちわ作りや自転車発電によるかき氷作りなどを楽しんで参加している姿に触れ、企画運営の皆様のご尽力に感謝するところである。小さな子どもたちと生活を通して「生かしていくエコ」「楽しく出来るエコ」を考え合い小さな歩みを続けていきたいと思う。



## チビッ子クラブ

秋田市

最近の年長児の大ブームは、毛糸の「シュシュ作り」。それも昔からあるリリアン編みです。何を使って編むかというトイレットペーパーの芯とストローを利用しての簡単アイデア品。

編み物をやったことのない子ども達が夢中で覚えようとして編み始めます。「お母さんにプレゼントしたい。」「お姉ちゃんは何色がいいかなあ〜？」と男の子も女の子も夢中で編んでいます。トイレットペーパーの芯からきれいな色で編まれた毛糸が出てくると「やったあ〜。」と大騒ぎ。保育士が仕上げをしてゴムを通して完成です。かわいくラッピングしてそれぞれのお母さんにプレゼント。お母さん達は、「すごいね。お店で売っているものみたい。」「かわいいね。」と感動し、喜んでいます。どんな高価な髪飾りよりも我が子からのプレゼントのシュシュを大切に愛用してくれています。子ども達は、お母さん達の嬉しそうな顔が見たくて、今日も楽しくにシュシュ作りをしています。



# こどもエコクラブ活動報告



## 浜田小エコクラブ

秋田市

浜田小エコクラブは、6年生17名をリーダーに全校児童83名で活動に取り組んでいます。今年度も浜田小の伝統的な活動になっている浜田浜の清掃活動に取り組みました（47年間継続）。

6月下旬、学校から歩いて5分ほどの所に広がる浜田浜に出かけ、6年生のリーダーを中心に学年縦割りの12グループに分かれて清掃活動に取り組みました。夏を思わせる日差しの中、砂浜に落ちている空き缶やペットボトル、プラスチック製品などの生活ごみを拾い集めて袋に入れていきました。約1時間の作業でしたが、各グループとも45Lのごみ袋に3つほどのごみを集めることができました。



### 子どもたちのふり返りから

- ごみがたくさんあって、拾うのが大変でしたが、きれいになった浜田浜を見てすっきりしました。
- ごみを捨てないように気をつけていきたいと思えます。
- 来年も浜清掃をがんばって、浜田浜をきれいにしたいです。



## 秋田市立戸島小学校

秋田市

戸島小学校エコクラブは、6年生12名をリーダーとする全校83名で構成するクラブです。毎年6月に「クリーンアップ活動」を行っています。今年も縦割り班に分かれた全校児童が、地域の通学路を中心にゴミ拾いをしました。

また、思いやり委員会が呼びかけ、アルミ缶回収やエコキャップ運動なども行っています。

学団毎の活動としては、1・2年生が畑で野菜づくり、3・4年生がバードウォッチング、5・6年生が夢花畑づくりをしています。



クリーンアップ活動



1・2年生「野菜作り」



3・4年生「バードウォッチング」



5・6年生「夢花畑」



## 秋田市立岩見三内中学校

秋田市

今年度は8月29日に岩見川と三内川で秋田大学の石井照久先生をお招きして、水生生物観察会を実施しました。この水生生物観察会は実施して10年以上になります。

当日は、天候に恵まれ、少し川の水量が多い状態でしたが、良い観察を実施できました。

昨年度までのデータと比較すると、岩見川・三内川ともとてもきれいな水質に住むカワゲラ・カゲロウ等が多く見られました。しかし、今年はヤゴ・ヒラタドROMシ等のややきれいな水質に住む生物も見られました。

毎日の生活から、汚染水を減らす努力をすること、ゴミを捨てないことなど地域全体で川の水質を守る必要があると改めて考えさせられました。

### 生徒の感想から

三内川はヘビトンボが多くいて、きれいな川だと思った。また珍しいカワシンジュガイも見つけることができうれしかった。でも、少し汚れた川に住む生物も発見されたので、川をきれいにする努力をしていかなければならないと思った。



三内川



岩見川



岩見川の水生生物



## 若駒学童クラブ

秋田市

今年度は、1年生13名、2年生14名、3年生8名、4年生12名、5年生2名、6年生4名、計53名で活動を開始しました。

主な活動は例年と変わらず、公園の掃除や両親宛ての年賀状のためのハガキ作り（牛乳パックを使い紙漉きをする。）でした。工作としては3点作りしました。1点目はハロウィン工作です。ダンボールとアルミ箔、プラ板を使い、スタンドグラス風に仕上げました。2点目はクリスマス工作です。トイレットペーパーの芯を胴体として使い、サンタクロースとトナカイのかわいい飾り物を作りしました。3点目は、松ぼっくりを使い、27年の干支の置物を作りしました。羊の丸い体を松ぼっくりで表現し、綿でモコモコ感を出し、新しい年が幸せいっぱいありますようにと願いを込めながらふくよかな羊が完成しました。

また、今年度は、自然にも触れることができました。夏休みの遠足で、路線バスに乗り、千秋公園に出かけてきました。公園内では、沢山の自然に触れ、そこに生息している生き物なども観察してきました。改めて自然の大切さやものを大事にする気持ちなどを再確認できた1日となりました。



# こどもエコクラブ活動報告



## イオン土崎港店 チアーズクラブ

秋田市

イオン土崎港店チアーズクラブは2年生から6年生で活動しております。

今年度イオン土崎店チアーズクラブでは、環境をテーマに【太陽・自然】を子供たちと学びました。太陽については学習で学び、自然は秋田市太平自然学習センター（まんたらめ）で行われたこどもエコクラブ交流会に参加しました。

交流が初めての子供たちも、自然の散策やゲームなどで他のクラブの方々とも仲良くなり楽しく過ごす事ができました。午前はネイチャーゲームや自然の観察、午後からは自然の風景の中にある生き物たちを知るなど、自然とのかかわりについて学びました。

学びから自然のものを使った工作では、リース作りを体験し、自然の形を一つの飾りものとして作品を作りあげました。

子供たちの発想は無限で、思い思いに木の実や小枝などを工夫して取り付け、夢中になって取り組んでいました。

秋田の自然の豊かさを次代につなぐこどもたちに、今後も自然を知る機会に参加し、豊かな秋田を実感していただくことを期待しています。



## あきたみどりフレンド

秋田市

秋田市太平のまんたらめで行われた、「こどもエコクラブ交流会 in まんたらめ」に参加し、多くの成果を挙げる事が出来ました。

子供同士の連帯感、思いやりの中で生き物や植物、花など自然との関わりを理解し、自分たちが生きている仕組みを学ぶ事ができました。風と樹木のハーモニー、梢の鳥の鳴き声など、ふだん学校で感じる事がめったにない体験をし、参加クラブの仲間たちと気軽に会話する事が出来ました。エコ活動の学びの中で触れ合えるうれしさ、楽しさを共有し、全員の「ありがとう」の元気な声で終了出来たことが最高の収穫でした。

### 子供たちの声

- ネイチャーゲームを体験できた事やリース作りではいろんな花や木の実で作る楽しさを感じた。参加できない生徒ももっと自然に触れてほしい。
- ネイチャーゲームで目隠しでみんなと助け合い風や鳥の鳴き声など自然の音を聴いた。
- 森の探検でかごの中に栗やくみを入れたリスのえさや、泥水を溶かしてきれいな水の実験がおもしろかった。
- 目隠し体験がこわかったけど色々学べて良かったです。
- 自然観察で木や草の名前、葉のつき方などを知ることが出来た。6年生最後だけど、ほかの人たちにも知ってほしい。





## 秋田市立秋田東中学校 科学部

秋田市

私たち秋田東中学校科学部は、3年生7名、2年生12名、1年生7名、計26名で活動しました。イベントとして行う活動は、8月にアルヴェの自然科学学習館で行われるワークショップや、9月に学校祭で科学の良さを知ってもらおうブースの運営などです。普段は、テーマごとのグループに分かれて自分たちの興味のある内容について研究しています。今年度は、4組が秋田市理科研究発表会で研究内容を発表し、3組が推薦をいただきました。そのうちの2組が秋田県理科研究発表会に出場することができました。

私たちの研究の1つを紹介します。「ネギのにおい Part2」というテーマで昨年度から続けている研究です。ネギの匂いの原因を調べ、効果的な消臭方法を考えるものです。秋田大学の先生にもご協力をいただき、液体クロマトグラフィーを使用しました。原因として浮かび上がったのは「1-プロパンチオール」という成分でした。熱に弱いことが分かっていたので、この物質の蒸発により匂いが弱まるのではないかとという仮説を立て、密閉した容器としていない容器で加熱し、質量を比べる対照実験を行いました。その結果、密閉した容器は質量に変化がなく匂いが残っていたのに対し、密閉していない容器は質量が減少し匂いもほとんどしないことがわかり、自分の立てた仮説が正しいことを確認できました。今後も研究を続けより深くネギの匂いについて知りたいと思います。



竹とんぼの飛び方と仰角の研究発表



## 泉児童センター

秋田市

### 泉児童センターエコクラブの活動

#### ①育成クラブと地域の方々の協力の元で、年3回の資源回収

児童や全戸配布のセンターだよりを通じてたくさんの本や古新聞などが集まります。センター内でもダンボールを使った空気鉄砲作りやホバークラフト作りをしました。出た切れ端は、専用の紙袋に入れてもらい、再生に使います。(ものをすぐ捨てない心、大切な心)

#### ②ペットボトルキャップ回収(6年目)

他の国の子どもを命を救うためと、保護者の方と一緒に沢山持ってきてくれます。(人を思いやる優しい心)

#### ③電気など、いなければ消す。(エコする心)

など、毎回の活動の中で実行できるよう、働きかけています。

今年度は、「秋田キャンパスネットワーク」の大学生9名を招き、「カンボジアの船上生活」について、写真、絵、お話しの中で水がいかに大切か、大変かについて学びました。その中で本当に水の大切さを感じたようで、出した水はすぐに止めることを心がけていたのが印象的でした。

また、7月末の「泉の夏まつり」への参加も、「トト口の森」と自然の大切さをテーマに5回目を迎えました。



# こどもエコクラブ活動報告



## 土崎児童館

秋田市

エコクラブ活動も3年目になりました。エコを意識した活動は定着してきていて、行事の材料として牛乳パック、ペットボトル、新聞紙、ダンボール、ヤクルトの殻等、いつもストックがあり活用しています。

今年度の行事では牛乳パックはトライアングルえんぴつ立て、紙皿でかべかけポケットづくり、ペットボトルでは底の部分を利用したキーホルダーづくり、色水あそび、マイけん玉づくり、プレスレットを作りました。プレスレットは炭酸ジュースのペットボトルを小さく切ってオーブントースターで焼くと丸まり、それをつなげてプレスレットにしました。これは昨年から少しずつ焼きためて今回行事にすることができました。

再利用の工作に、どんな物ができるか、出来上がりに喜び、発見する楽しみ、こども達の反応など、楽しみながらリサイクルしていけたらと思います。



## わくわくエコ工房

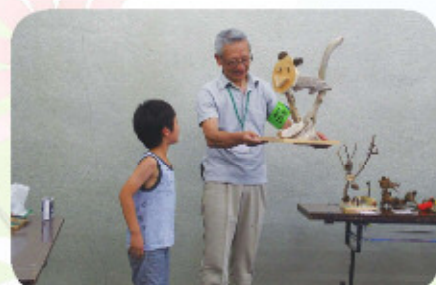
秋田市

私たちは、子ども4人大人4人の、今年できたてホヤホヤのこどもエコクラブです。家族クラブですから、いつでも団結力は抜群です。ふだんの活動は近所の草生津川の散歩道の散歩を兼ねての月一回のペースでゴミ拾い、まだまだのんびりエコ活動です。近くにショッピングモールがあり、ビニール袋が川の土手に、休憩用ベンチの周りにタバコの吸殻や空き缶など、どうしてこんなところに落ちているの?と小学1年の孫からの素朴な質問に戸惑いながらも答えることでモラルということについて実践をさせていただいております。

イベントでは生涯学習センターで開かれました年1回のあきたエコマイスター県央協議会主催の「こどもエコ学習」に6人で参加できました。

子供たちが、真剣な眼差しで地球温暖化や森林のやくわりの話を聞く事ができたことや森の木の実、流木などを使った工作に夢中になったことなど、あっという間の楽しいひと時を通してみんなで、環境に少しでも関心を持つことができた体験でした。

これからも、ゆっくりでも様々な体験を通して環境と人の関わりなどを勉強していきたいと思えます。





## 能代市立第四小学校 4年部

能代市

能代市立第四小学校4年エコキッズは、4年生99名から構成され、総合的な学習の時間に単元「とびだせ！エコキッズ」とし、毎年4年生が活動して7年目になります。今年度も、社会科見学との関連を図りながら学習を進めてきました。

1学期中に、浄水場、終末処理場、南部清掃工場、エコブラッシュの見学や、水生生物調査を通して、「ゴミを減らすには」「米代川は能代の自慢の川」「プラスチックが大変身」など、テーマを決めて調べ学習や調査活動などに意欲的に取り組むことができました。

調べた結果は、2学期にエコ新聞としてまとめるために、エコに関するアンケートを行い、それをもとに、節電やゴミの捨て方、レジ袋の使用、食器の洗い方など、身近なところでどのような実態なのかを整理したり、自分たちができることを考え、自分の家族へもエコを呼びかけたりすることができました。

こうした学習がこれからの生活で、身近なエコに取り組むきっかけになりました。



## 横手北中学校 科学部

横手市

昨年度、横手北中学校の開校1年目に当たり、これまで横手西中学校で行われてきた鮭の稚魚の飼育、放流活動を引き継ぎ、科学部の活動として行うことにしました。11月に、にかほ市にある川袋鮭漁業組合から受精卵を3000個ほど頂き、受精卵を孵化させる所から始めました。12月には受精卵が孵化し、1月からは自分でえさを食べるようになりました。この飼育は4月まで行い、鮭の体長も6cmをこえるほど大きく成長しました。

そして今年度に入り、鮭の放流の準備を進め、4月22日に横手西中学校の裏手を流れている横手川で、無事に放流することができました。また、横手西中学校がある黒川地区で、約15年間続けられてきた放流活動を今年度も横手北中科学部で続けていくことに決めました。今年度は、科学部は2年生2名に加え1年生が7名入部し、合計9名で活動しています。今年度は、鮭の受精卵を5000個と昨年より多くの受精卵をもらい受けました。ちょっとした水質の変化でも鮭の稚魚の様子が変化するので、毎日不安を抱えたままの飼育が続いていますが、昨年の経験を生かしながら、部員全員で世話を続けています。4月の放流なので、年度末も活動が続いているため、途中経過の報告となりますが、春には2回目の放流ができることを部員一同楽しみにしています。



鮭の稚魚の放流の様子

# こどもエコクラブ活動報告



## 西目シーガルエコクラブ

由利本荘市

6年生は、5月に環境学習の一環として「地球温暖化防止緑作り植樹祭」に参加しました。

地域住民合わせて150名が参加し、急な山の斜面に1300本の杉を植樹しました。

植樹する山林にたどり着くのが大変でした。山道を懸命に歩きました。お互いに励まし合い「未来につながるんだよね。」「自慢の美しい西目の田んぼを支えるんだよね。」等と会話しながら、やっとの思いでたどりつきました。

山へ登るのに汗だくになり、斜面で杉の苗木を植えるのにも汗だくになりました。杉の苗木を何度も取りに行ったため、息も切れしました。高齢の地域の皆さんが黙々としかも手際よく作業する姿を目にしました。「未来を考える姿」「それを実行する姿」に、大きな学びがありました。

6年生ここで一句

**森の中 温暖化防ぐ みんなの手**



～20年後を夢見て～



～西目美田を守りたい～



## 潟上市立飯田川小学校

潟上市

飯田川小学校では、20年以上前から5・6年生の有志で地域に流れる豊川の水質調査をしています。豊川は八郎湖に流れ込む川の一つで、そこに住む生き物から水の汚れや環境を知ることができます。今年の夏も8名の児童が調査に参加しました。普段なかなか入ることのない川での調査では、たくさんの発見がありました。

### 児童の感想から

全部で7カ所を回って調べました。最初に行った八郎湖川口では、小さい魚がたくさんいました。水温は25度ぐらいでした。

次に行った羽立や次に行った場所も水温はだんだん低くなっていて、水はだんだん透き通ってきてきれいになっていきました。

小さいのから少し大きいのまでみたこともないような生き物をたくさんみる事ができて、よかったです。水がきれいになるにつれて水生生物の種類も変わり、水の汚れと生物の関係がよく分かりました。

6年A組 鈴木 瑞歩



「上流は水がきれいだね。」



「これは何か？」





## 大仙市立角間川小学校 こどもエコクラブ

大仙市

### 1、活動にあたって

本クラブは、学校の教育活動からエコの精神を学ぶこと、エコ活動を行おうとする態度を育てることを目的とした学校を母体とするクラブである。今年度も、市の環境教育 指定校として、以下のような活動を行い、全校児童でエコ活動に取り組んだ。

### 2、活動の実際

#### ①児童会主体の活動

- ・空き缶等の回収・ゴーヤのグリーンカーテン
- ・親水公園クリーンアップ・環境集会
- ・全校でエコチャレンジ（節電節水等）

#### ②総合的な学習等で展開した活動

- ・獅子ヶ鼻湿原へのフィールドワーク・水質検査

#### ③地域とともに取り組む活動

- ・親水公園クリーンアップ
- ・ありがとうフェスティバル等で地域へ発信



### 3、活動の成果

児童会では、環境委員会が主体となって、「みんなで取り組む」をテーマにエコ活動を推進した。みんなにエコの意識を持ってもらうことをねらって、集会などで呼びかけた結果、低学年の児童でも空き缶回収等に協力することができるようになってきている。



## どれみ保育園エコクラブ

大仙市

### ～家族みんなでエコライフ～

どれみ保育園のエコクラブの活動は主に年長組さんが頑張ってくれますが、今年度は新しい試みとして「こどもふくりサイクル」を保護者へ呼びかけてみました。「こどもってあっという間に大きくなって、かわいい服もすぐに着られなくなるのよね～」と成長を喜びながらも思わず出してしまう本音。そんな声から生まれた「こどもふくりサイクル」。ジャンパーやTシャツ、ベビー服など、まだまだ活躍出来るこども服がたくさん集まりました。集まったこども服をディスプレイして自分の子のサイズが見つかった時は上限 200 円としてお母さん方の“お気持ち”を貯金箱に入れてもらい、その集まったお金を歳末募金などへ寄付します。物を大切に作る心、おもいやりの心が自然に育まれていきます。また、譲り受けた服に知っているお兄さんやお姉さんの名前を見つけて喜んでいるこども達。洋服も、元気なこども達に再び着てもらい嬉しそうに思えます。

来年度も引き続き、今まで継続している給食の残さ利用での畑活動、資源ゴミの分別作業など、身近なところから保育園全体（家族みんな）でエコ活動に取り組んでいきたいと思います。



# こどもエコクラブ活動報告



## 北秋田市立鷹巣南小学校 南っ子エコクラブ 北秋田市

- **クラブ紹介**：私たちの学校は今年で創立 140 周年を迎えました。1 年生から 6 年生までクラブ員 72 人とサポーター 19 人で活動しています。今年度の活動テーマは、「自然に親しみ、ふるさとを愛する」です。4 年以上が、【田んぼの生き物調査】【大清水の秘密】【私たちの米づくり】【長岐邸を調べて】【元堰探検】等北秋田市の理科・社会科発表会で発表しました。

- **今年度の活動から**



学校田生き物調査



稲刈りとはさがけ



EM 菌作りの学習

### 子どもたちのコメント

田んぼの生き物調査では、水生生物や植物がたくさんいること・豊かな水に恵まれた私達の地域では昔から米作りが盛んなことを知りました。また、元堰見学で水を引くための先人の苦勞を歩いて見て実感しました。こんな大きな岩を掘って用水路を造り、水を引き七日市地区の農業を支えてきたのだということを理解できました。今年は稲をはさがけしてできた「わら」を、2/15 の「葛黒火祭り」に使います。大木につけて焼き、無病息災・豊作を祈るのです。頑張ります。



## 合川エコクラブ 北秋田市

現校舎で過ごす最後の年、学校の周りの「いたての森」など恵まれた自然の中で、身近な環境を大切に活動に取り組んでいます。

### 主な活動

- ① **全校登山（全校、7 月 18 日、森吉山）**  
森林の生き物、役割などを学びました。
- ② **宿泊体験活動（5 年、9 月 2～3 日、あきた白神体験センター）**  
海辺の観察、二ツ森登山などで、自然に親しみ、自然との関わりを見つめました。
- ③ **EM 菌によるエコ活動（全校、通年、学校）**  
全校で EM 菌培養液をつくり、シーズン前のプールに投入。5 年生では EM 菌による給食の残菜で堆肥をつくり、畑や花だんに活用しました。
- ④ **プルタブ・アルミ缶回収（5 年生を中心に全校で、通年、学校・地域）**  
学年毎に競争しながら取り組み、収益金で車椅子を寄贈しました。
- ⑤ **農園活動（全校、通年、学校・地域）**  
学校の花壇・畑、地域の方にお借りした田んぼ・畑に、地域の人と一緒に苗を植えました。水やりや草取りなどのお世話をし、秋には収穫をしました。収穫した米やいも、豆などで料理を作り、家族や地域の人と一緒に収穫感謝祭をしました。





## 平沢小学校 サイエンスクラブ

にかほ市

平沢小学校サイエンスクラブは、6年生4名、5年生6名、4年生4名、計14名です。今年度は「太陽焦熱炉の製作とその熱の利用」をテーマに研究に取り組みました。

ビーチパラソルにメタルシートを貼って作った太陽焦熱炉は、直径が2メートルを超える大きなものですが、夏場には1時間ほどでやかんの水を100℃に近い温度まで上げることができました。エネルギーのしくみを調べてみると、メタルシートで反射した光は74%に減少し、反射した光のうち9%がやかんに当たり、やかんが受けた光エネルギーの60%が熱エネルギーに変わることがわかりました。つまり、水を温めたのは太陽光エネルギーのわずか4% ( $0.74 \times 0.09 \times 0.6 \approx 0.04$ ) ということになるそうです。わずか4%でも、やかんの水を沸騰させる太陽エネルギーの大きさに驚きました。

今後、焦熱炉の反射率を高め、やかんに効率よく光が当たるように工夫し、やかんの色を光を吸収しやすい色に変えるなどの改良を加えることによって、さらにエネルギー変換効率の良い焦熱炉を作り、それを利用できることを増やしたいと思っています。

最近、地球規模で起こっている異常気象は、地球温暖化が原因であると考えられています。これからも自然エネルギーの利用について考えたり実験で確かめたりすることで、エネルギー問題について取り組んでいきたいと思っています。



## 金浦小 科学クラブ

にかほ市

科学クラブは、6年生4名、5年生1名、4年生2名の計7名で活動しています。

今年度の研究テーマは「固まる不思議を探る」と「転がる不思議を探る」の二つです。月曜日の必修クラブの活動を中心にして、夏休みなども活動しています。

必修クラブでは、ペットボトルを再利用した「浮沈子」のおもちゃや、フィルムケースを使ったバロocket、使用済みCDを使ったホバークラフト作りなどの実験を行ってきました。身近にあるリサイクルできるものを使っての実験は、ものの大切さを考えるきっかけにもなりました。

学習発表会では、科学マジックも全校の前で見せることができ、好評でした。これから短い3学期ですが、かんたんに作れて、再利用もできる物作り実験を全校のみんなにも教えていこうと計画しています。

また、金浦小学校では地域の自然に関連した学習も各学年で行っています。

1・2年生は干し柿作り。3年生は鮭の稚魚の放流。4年生は特産のイチジクについて調べる学習。5年生は稲作り。6年生は、防災についての学習などです。

これからも、地域の良さを知り、ふるさとを大切に作る心情が育っていくと良いと考えています。



# こどもエコクラブ活動報告



## 井川小学校 自然観察クラブ

井川町

自然観察クラブでは、井川小学校周辺と地域の自然とふれあいながら活動を進めています。今年度は学校周辺の植物を採取し、顕微鏡で観察したり、国花苑の沼で力ヌー体験を行ったりしました。夏季休業中には、井川町を流れる井川の水生生物調査も行いました。この活動は、長年継続して行っており、水質調査として貴重な資料となっています。今年度は、初めて五城目町の「縄文と文化のむら」でネイチャーゲームや自然工作も行いました。

### 子どもたちの感想（水生生物調査より）

- ぼくは初めて川の調査をしました。石のうらに生き物がたくさんいました。初めて見る生き物ばかりで、びっくりしました。きたない川には、あまり生き物がいなかったもので、川にゴミをすてないように気を付けます。
- 井川の生き物の調査をしました。緑色ののびたりちぢんだりする生き物を初めて見ました。その動きがとてもおもしろかったです。調べたら、トビケラ類で、きれいな川にしかいないことがわかりました。ぼくはきれいな井川をこれからも守りたいと思いました。



## 美郷町立美郷中学校 総合科学部

美郷町

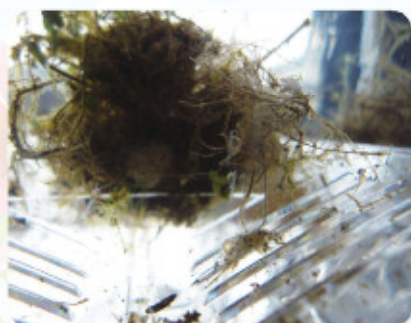
今年度は、昨年度の研究内容を引き継ぎ、「トミヨ属雄物型の研究 Part.3～ハリザッコの繁殖」というテーマで研究を進めました。今年は部員数が増えて14人になったため、清水の環境を調べる班、人工営巣装置を開発する班、繁殖について研究する班と、3つの班に分かれて研究しました。

ハリザッコの生息している清水の調査から、ヨコエビと一緒に生息していることが重要であると推測されました。ピオトープで昨年の8月に行った個体数の調査では210匹のハリザッコが確認されましたが、今年の8月には350匹も確認できました。ピオトープでの繁殖が順調である証拠だと思いました。また、ピオトープで見つけた巣を水槽に入れ、稚魚が孵化する様子を観察できました。しかし、孵化した稚魚は48日後に全滅してしまいました。

今年度も人工営巣装置の開発を行いました。思うような成果を得ることができませんでした。来年度もこの研究を継続し、絶滅危惧種であるトミヨ属雄物型を守っていきたくて考えています。



ピオトープでの調査



ハリザッコの巣と孵化した稚魚

# 平成26年度に環境分野で 受賞した学校を紹介します。

## 第15回環境美化教育優良校等表彰

清涼飲料・ビールなど飲料業界6団体で構成する、公益財団法人食品容器環境美化協会では、環境美化教育の奨励及び地域の環境美化の啓発を目的に、全国の環境美化教育優良校の表彰を10年以上にわたり実施しています。平成26年度は、男鹿市立野石小学校が、優良校に選定され、表彰されました。

### 男鹿市立野石小学校

男鹿市の宮沢海水浴場には男鹿市内外から多くの海水浴客が訪れます。その学区にある野石小学校では、ふるさとの自然を守り、大切に作る活動「宮沢海岸クリーンアップ活動」を約半世紀にわたり、海開き前に全校を挙げて取り組んできました。平成25・26年度は、「コスモ アースコンシャスアクト クリーン・キャンペーン」と連携し、総勢500名が参加する一大行事に発展しました。長期にわたり、地域の環境美化に大きく貢献してきたことが高く評価され、今回の受賞となりました。



## 環境大賞

秋田県では、環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人又は団体を表彰し、その活動事例を広く県民に紹介することにより、県民の環境保全に関する自主的な取組を促進することを目的として、平成10年度から環境大賞の表彰を実施しています。平成26年度は大館市立釈迦内小学校が環境教育・学習部門において、環境大賞を受賞しました。

### 大館市立釈迦内小学校

釈迦内小学校では、釈迦内サンフラワープロジェクトの中核として、「ひまわりプロジェクト」を展開しています。児童は、地域の方々や幼稚園・保育園児、中・高・大学生、企業の方々とともに地区の休耕地を活用してヒマワリの栽培、収穫、種から採れるヒマワリ油やヒマワリ茶の生産・販売を行う6次産業化をとおして、環境保全や循環型社会の構築を学んでいます。また、この活動は、地域づくり・地域活性化を図る「ふるさとキャリア教育」として、地域に花開くヒマワリが景観としても地域の方々の心に希望の灯をともし、笑顔が満開の地域になることをねらいとしています。



## 東北地方ESDプログラム チャレンジプロジェクト2014

このプロジェクトは、東日本大震災を経験された東北6県の学校、保育所や幼稚園、企業、団体などが実践するESDの視点を取り入れた取組を、全国へ発信することを目的として環境省が実施しました。地域の自然や文化、伝統の大切さや、これからの地域のあり方を考える創意工夫あふれる取組として、秋田県からは4つの団体が表彰されました。

東北地方ESD優秀賞 能代市立鶴形小学校

東北地方ESD奨励賞 大仙市立藤木小学校・大館市立釈迦内小学校・秋田木登りクラブ

# ガペしんぱん



## マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ

私たちには、このクラブで感じたことが2つあります。1つめは、「カタクリの花」についてです。みんなが高尾山に登ったときにカタクリの花を見つけました。カタクリの花は、種から花を咲かせるまでに7~8年かかります。このカタクリのように私たちエコクラブメンバーも、時間をかけて、ゆっくりだけれど着実に成長して自立…花を咲かせたいと思いました。

2つめは、浜辺のゴミ拾いです。このときは、お盆の後だったので、ゴミがたくさん落ちていました。そのほとんどが「人が捨てたもの」。「ゴミを捨てるのも人間、拾うのも人間」…。これではきりがありませぬ。このようなことをなくすために、1人ひとりが心がけることが大切だと思いました。

ここで紹介する壁新聞は、こどもエコクラブが普段の活動や環境について調べたことをまとめ、エコクラブのなかまや地域の人たちに紹介するためにつくったものです。



## ひろおもてエコクラブ

壁新聞づくりを始めて10年たちました。最初の頃は、サポーターが助言することが多かったのですが、最近は3～4年生以上くらいが中心になり、ほぼ子ども達だけの力で完成しています。

新聞にはメンバー全員の言葉を載せたくて、事前にカードを配り、1年の活動で思い出に残ったことや、みんなに伝えたいことを自由にまとめます。文章だけでなくイラストが入ったり、時には4コマ漫画が登場したりします。新聞全体のイラストも、図鑑を見ながら、丁寧に納得いくまで虫を描いたり、折り紙を使ったり毎年様々なアイデアが登場しています。

新聞づくりのもう一つのお楽しみに、あるサポーターのお手製の炊き込みご飯のお昼があります。去年は、4年生以上での作業予定でしたが、炊き込みご飯がでると聞いて、なんと年間通して初の、全員参加となりました！！

# こどもエコクラブ交流会

平成26年9月23日、秋田市太平山自然学習センター「まんたらめ」を会場に「こどもエコクラブ交流会inまんたらめ」を開催しました。この交流会は、秋田県と秋田市が協力して計画しました。参加者は、イオン土崎店チアーズクラブ、あきたみどりフレンド2クラブ17名のみなさんでした。

当日は、さわやかな晴天に恵まれ、夏から秋への季節の移り変わりを肌で感じ、そこから得た感動を全員で分かち合うことができました。

午前中はたくさんのネイチャーゲームをしました。1つのゲームが終わるたびに、自然のしくみのすばらしさ教えていただくことができました。



## \* 動物質問室

仲間で協力してある動物のヒントを集めて推測し、その特徴や生態を楽しみながら学びます。



## \* カモフラージュ

自然のものではないもの(人工物)をさがします。写真の中にひとつありますね。見つけられましたか？



## \* 目かくし歩き

ロープを頼りに歩いて行きます。ロープがつながれた木に触れ、その温度や感触、においなどを新鮮な感覚として受け止めることができました。



## \* 目かくしイモ虫

それまで聞こえなかった鳥の声や風の音が聞こえるようになり、今まで感じなかった土や草の匂いを感じるようになりました。



午後は秋田市植物園での自然観察とリース作りをしました。

自然観察では、クルミの実のかじられたあとからどんな動物が食べたのか、落ちている小枝の切り口から、どんな動物が切り取ったのかなど、自然の中の生き物たちの残した証拠から、その生活を知ることができました。また、その動物たちの興味あるエピソードを聞くことができました。

自然の材料を使ったリースの制作では、木の実や小枝などを工夫して取り付け、1人ひとりの個性を生かした作品を仕上げました。



### \* 秋田市植物園での自然観察

お話を聞いて、植物を見て、触って、果実は実際に味わってみました。



### \* ネイチャークラフト

どんぐりや松ぼっくりなどの自然の材料でリースを作りました。



### \* 終わりの会

感想発表です。今日を振り返り、楽しかった体験の話をしてくださいました。



### \* 参加者全員での記念写真です。

# あきたの環境を考える体

平成26年度から、小学3年生以上の親子を対象として、「あきたの環境を考える体験」事業をスタートしました。

この事業は、秋田の環境を守る取り組みをしている事業所などを実際に見学し、未来のあきたの環境について考える機会にさせていただくことをねらいとしています。

来年度も実施しますので、家族単位のエコクラブでしたら、活動の1つとして参加してみてもいかがでしょうか？（募集対象地域や開催時期は決まり次第お知らせします。）

第1回は「電気のゆくえ」をテーマとして、平成26年10月15日に実施しました。



- \* 秋田国見山第一風力発電所の見学をしました。建設中の資材を運ぶトラックに乗っている巨大な風車の部品を間近で見ることが出来ました。



- \* 説明を聞いたあとで、塔内の設備を見せていただきました。送電線は、全て地中にあるそうです。



- \* 秋田火力発電所では、環境を守るための技術を実験を交えてわかりやすく教えてくださいました。



- \* 巨大な発電機や中央制御室などを見学しました。屋上から施設全体を見学し、たくさんの質問に、ていねいに答えていただきました。

# 験

第2回は「ごみのゆくえ」をテーマとして平成27年1月8日に実施しました。



- \* 株式会社エコリサイクルでは、エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機などから、有用な部分や材料をリサイクルし、廃棄物を減量するとともに、資源の有効利用を行っています。



- \* テレビなどは、一台ずつ手作業で分解し、素材ごとに分けていました。素材の違うものが混ざらないようにすることで、リサイクル原料の質もよいものになります。



- \* 秋田ウッド株式会社では、廃プラスチックと廃木材から再生木材を生産しています。プラスチックの腐らないよさと木材の特長を生かした再生木材の多くは、大学やホテル、公園などにあるウッドデッキや柱、看板などに使用されています。再生木材は回収し、くり返し原料として使用することができます。



- \* 株式会社北秋容器では、使えなくなったガラスびんを粉にして、軽石のように焼き固めた「スーパーソル」というリサイクル製品を作っています。軽くて水はけがよく、土木や農業などの分野で使われています。ガラスが自然素材なので、スーパーソルも自然に還ります。また、廃木材から、ペレットストーブなどの燃料となる木質ペレットも製造しています。

「聞いたことがある。」、「学校で習った。」、「テレビやインターネットで観て知っている。」でも、間近で見て、触れて、働く人たちの思いに耳を傾けたあとの「知っている。」は、きっと何か違います。

# 「環境の達人」を派遣しています

「環境の達人」地域派遣事業とは、市町村、学校及び住民団体等が主催する講演会、学習会等へ、環境問題・環境保全に関する先生を派遣する事業です。「環境の達人」は、小学校の理科や家庭科のメニューも用意しています。

## 体験型講座

### 川の生物を調べよう

地域を流れる河川の透明度やpH、捕獲された指標生物から、河川のきれいさや地元の自然の大切さを学ぶ。

#### プログラム例(小学校)

- ①川の水質を調べる
- ②実際に川に入って水生生物の捕獲、観察



### リメイクキャンドル作り

不要となった和ろうそくを使ったキャンドル作りを通じて、楽しくエコや環境問題について学ぶ。

#### プログラム例

- ①エコについてのお話
  - ②キャンドル作り
- ※紙コップやガラスケースなどの容器、クレヨンなどの材料費はご負担いただきます。

### 本はがき作り

秋田杉の端材を用いた、しおりや木ハガキ作り。匂いによる木の種別判別等を体験しながら、CO<sub>2</sub>吸収源、私物多様性などの森の役割や、里山に代表される人と森林との関係、年輪の意味等を学ぶ。

※秋田杉端材、クラフト紙などの材料費はご負担いただきます。



### 省エネクッキング

地球温暖化が食材に及ぼす影響、食材の産地によるフードマイレージ、調理方法等、省エネやごみ減量と調理の関連を学び、調理体験を行う。

#### プログラム例(小中学校)

- ①地球環境問題、「食」と地球温暖化の関係について講義
- ②調理実習、試食

※食材などの材料費はご負担いただきます。



### フロンと私たち

温室効果の高いフロンガスについて学び、冷蔵庫を模した実験キットやサーモカメラを用いてフロンを含む断熱材からノンフロンの断熱材への進化を体験。「正しく捨てる」ことの大切さ、「ノンフロン」製品について学ぶ。



実験時小学生が撮影したサーモカメラ画像



ゲームを取り入れた自然体験学習や、自然エネルギーを使った調理体験、かわいいアイテムが作れるリサイクル講座もあるよ。

※ここに掲載したのは活用例です。学校の実情に合わせて適宜プログラムを変更できます。また、メニュー以外の達人の派遣もたくさん用意しています。

連絡先：秋田県環境管理課(018-860-1571)

# 講義・ワークショップ(WS)型講座

## 地球温暖化と省CO<sub>2</sub>住宅

北国秋田における住宅のエネルギー使用量や、健康に与える影響(ヒートショック等)、また断熱や高効率給湯器、窓サッシ等の省エネ住宅のための取り組みについて学ぶ。

## 国際的環境戦略

生物多様性や地球温暖化、それらを取巻く国際条約、また、それらの分野で活躍できる人材となるための“志”や“技能”について学ぶ。

※学年単位や全校生徒等、比較的人数の多い講座を対象とさせていただきます。

## 風力発電の現状と将来

風のエネルギーが生み出す電気的なエネルギーについて、発電効率の考え方、秋田県のポテンシャル、欧米との取り組み比率などを通じて、近年県内で注目される風力発電について学ぶ。

## 地球温暖化と森林の役割

植樹や間伐による自然林再生の可能性や、森林の生態に関すること、また人と自然の関わりについて講義形式で学ぶ。



## 地球温暖化と農業

一般的な地球温暖化のメカニズムや国際条約、秋田県の取り組みの他に、依頼団体の業種に応じた現状の整理に引き続き、農業と温暖化の関連性や地球規模の土壌環境問題などについて学ぶ。

## 家庭でできる省エネ活動

全国や秋田県の家庭部門からのCO<sub>2</sub>排出の現状や、排出量の多い分野における省エネ活動とその効果について学ぶ。

## 環境放射能って？

「霧箱」を用いた放射線の飛跡観察を行い、放射能について(性質、霧箱実験、放射能の人体への影響、利用等)を学ぶ。

### プログラム例

- ①放射能の正体、性質についての講義
- ②霧箱を使って自然界にある放射線の飛跡を観察
- ③発電や医療などへの放射線の活用や、人体の影響などを知る。

※霧箱観察に使用するドライアイスの費用はご負担いただきます。



中学生が飛跡を観察

## カーボン・オフセットって？

地球温暖化の概要から、カーボン・オフセットの基礎知識、取組状況や事例紹介など、小学生も楽しく学べる初心者講座。ワークショップによる参加型講座も可能。



## 開発途上国から学ぶ環境教育

開発途上国における環境問題や、国際協力・開発教育について、教材を活用した参加型ワークショップで学ぶ。

## もっと知ろう！エネルギーのこと

エネルギーの種類や原子力発電を含む発電の仕組み、世界におけるエネルギー生産や消費などについて、参加型のワークショップまたは講義形式で学ぶ。

ここでご紹介した内容は活用例です。他にもたくさんの講座がありますので、お気軽にお問い合わせください。

# 平成26年度 登録クラブ一覧

No.	クラブ名	会員数	サポーター数	市町村名
1	マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ	53	24	秋田市
2	ひろおもてエコクラブ	24	6	秋田市
3	せいいいエコクラブ	77	13	秋田市
4	チビっ子クラブ	98	10	秋田市
5	浜田小エコクラブ	83	14	秋田市
6	秋田市立戸島小学校	83	11	秋田市
7	ハッピーハッピー	4	2	秋田市
8	秋田市立岩見三内中学校	34	1	秋田市
9	若駒学童クラブ	50	1	秋田市
10	イオン土崎港店チアーズクラブ	12	3	秋田市
11	あきたみどりフレンド	25	3	秋田市
12	旭川清流キッズエコクラブ	90	4	秋田市
13	秋田市立秋田東中学校 科学部	25	1	秋田市
14	秋大附中 情報科学部	40	1	秋田市
15	四ツ小屋小学校こどもエコクラブ	284	17	秋田市
16	さくら冒険王	41	1	秋田市
17	旭北児童館こどもエコクラブ	57	2	秋田市
18	泉児童センター	62	8	秋田市
19	土崎児童館	50	4	秋田市
20	いずみエコクラブ	76	3	秋田市
21	わくわくエコ工房	4	4	秋田市
22	能代市立第四小学校 4年部	100	6	能代市
23	横手北中学校 科学部	3	1	横手市
24	西目シーガルエコクラブ	330	19	由利本荘市
25	潟上市立飯田川小学校	178	31	潟上市
26	大仙市立角間川小学校 こどもエコクラブ	81	17	大仙市
27	どれみ保育園エコクラブ	19	3	大仙市
28	北秋田市立鷹巣南小学校 南っ子エコクラブ	72	19	北秋田市
29	合川エコクラブ	65	11	北秋田市
30	平沢小学校 サイエンスクラブ	14	1	にかほ市
31	金浦小 科学クラブ	7	1	にかほ市
32	井川小学校 自然観察クラブ	11	4	井川町
33	美郷町立美郷中学校 総合科学部	16	1	美郷町
合 計		2,168	247	

					—					
--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--

記入日: 年 月 日

## 登録用紙

クラブ名				メンバー人数 (子ども)	人	
				サポーター人数 (大人)	人	
メンバー学年内訳 ※年齢・学年は、 年度当初(4月)時点を入 入してください。 ※高校生記入欄は、同年 齢のメンバーも各学年に あてはめて、記入してく ださい。サポーターとし ても登録できます。	幼児(3歳)	人	幼児(4歳)	人	幼児(5歳)	人
	小学1年生	人	小学2年生	人	小学3年生	人
	小学4年生	人	小学5年生	人	小学6年生	人
	中学1年生	人	中学2年生	人	中学3年生	人
	高校1年生	人	高校2年生	人	高校3年生	人
代表サポーターの 連絡先	氏名				JEC活動年数	
	住所 〒				年目	
	TEL				FAX	
	E-mail				*今年はじめて登録する場合、 1年目と記入してください。	
活動ツール ※クラブ単位でいずれか 1つを選び☑をしてください	<input type="checkbox"/> 不要 ※不要とした場合にも、代表サポーター宛にツールを1部お送りします。 <input type="checkbox"/> メンバースタンプのみ 希望 <input type="checkbox"/> 全ツール(こどもエコクラブ手帳、メンバースタンプ、情報紙) 希望					
グループの種類 ※該当するものに☑をして ください。	<input type="checkbox"/> 近所や地域のお友達 <input type="checkbox"/> 家族・親戚 <input type="checkbox"/> ボーイ・ガールスカウト <input type="checkbox"/> 子ども会 <input type="checkbox"/> 児童館や公民館のクラブ <input type="checkbox"/> 自治体の募集 <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園(□クラス・□全園) <input type="checkbox"/> 学校の(□クラス・□クラブ・□委員会・□学年・□全校 →学校名: ) *総合学習としての実施についても記入してください。(□YES・□NO) *異クラス混合の場合は学年へ、異学年混同は全校へ☑をしてください。 <input type="checkbox"/> その他( )					
取り組みたい 主な活動分野に☑をして ください(複数可)。	<input type="checkbox"/> ごみ・リサイクル <input type="checkbox"/> 生活・省エネ <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 自然・生物多様性 <input type="checkbox"/> 農業・栽培 <input type="checkbox"/> その他( )					

## ～大人の方へ～

## ●メンバー・サポーターになると

◇メンバーには、こどもエコクラブ手帳などの活動役立つツールが、代表サポーターには応援マニュアルなどが届きます。  
(ツールは、希望に応じてクラブ単位で選択できます。)

## ●注意事項

- ◇活動中の第三者への事故に対応するため、クラブの登録と同時に、全国事務局がメンバー・サポーターを対象とした賠償責任保険の加入手続きを行います。名簿の提出はメンバー・サポーターともに不要ですが、賠償責任保険の手続き上、名簿は必ずクラブで備えてください。
- ◇サポーターが複数のクラブを担当している場合には、ツールの重複を避けるため、2つ目以降のクラブでは、サポーター人数としてカウントしないでください。(クラブで備えていただく名簿には、名前を記載してください。)
- ◇高校生は、サポーターとしても登録ができます。(代表サポーターでの登録はできません。)
- ◇クラブ名、代表サポーターの連絡先、メンバーの人数、クラブの解散等、登録内容を変更する場合は、こどもエコクラブ全国事務局または地方事務局に必ず変更・解散届を提出してください。

●個人情報保護方針について●公益財団法人日本環境協会(以下、当協会という。)は、個人情報に尊重し、個人情報保護に関する法令及びその他関係法令を遵守するとともに、当協会の個人情報保護基本方針に則って個人情報を取り扱います。

1. 個人情報の利用目的:当協会は、こどもエコクラブ事業(以下、当事業という。)を行うにあたり、収集した個人情報を、本事業の支助にかかる環境関連情報の資料等の配布、賠償責任保険等の運用上必要な情報管理、サービス等改善のための事業(アンケート調査を含みます。)の実施、新たなサービスや環境関連情報の発信、その他当事業の実施に付随する業務を行う目的の範囲内で利用します。なお、利用目的の達成に必要な範囲で第三者に業務を委託することがあります。ただし、必要な項目を正しく記入いただけない場合には、適切な対応ができないこともございますのでご了承ください。

2. 個人情報の共同利用:収集した個人情報は、本事業の地方事務局として登録した都道府県及び市区町村と上記1.の利用目的においてのみ共同して利用します。

3. 個人情報の管理:収集した個人情報の漏洩、滅失、毀損または改ざんの防止、その他収集した情報の適切な管理を行います。また、事務局従業員及び業務委託先等に対して、個人情報の管理の指導と適切な監督を行います。

4. 個人情報の訂正・削除・開示:収集した個人情報は、ご本人から登録されている個人情報について訂正・削除・開示の請求があった場合は、迅速に対応します。第三者から開示の請求があった場合は、ご本人の承諾がない限り開示しません。ただし、個人情報保護法第23条第1項、第4項およびその他の法令の規定に基づく場合は、この限りではありません。情報の訂正・削除・開示を希望される場合は、当協会こどもエコクラブ全国事務局までご連絡ください。

## 【お問い合わせ先】

秋田県こどもエコクラブ事務局  
(秋田県生活環境部環境管理課 調整・環境企画班)  
〒010-8570 秋田市山王4-1-1  
TEL:018-860-1571 FAX:018-860-3881

こどもエコクラブは、子どもたちが誰でも参加できる環境活動のクラブです。  
こどもエコクラブ全国事務局(公益財団法人 日本環境協会)  
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9階  
TEL:03-5643-6251 FAX:03-5643-6250  
■こどもエコクラブウェブサイト:  
<http://www.j-ecoclub.jp/>  
「エコまる」は公益財団法人日本環境協会の登録商標です



# こどもエコクラブ 変更・解散届

提出先 : お住まいの市区町村のこどもエコクラブ事務局  
もしくは  
こどもエコクラブ全国事務局 公益財団法人日本環境協会  
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-16-9F  
TEL: 03-5643-6251 FAX: 03-5643-6250

記入日: 年 月 日

<以下のいずれかにチェックし、目的に応じて必要事項をご記入ください>

※都道府県、市区町村、クラブ名は変更該当しなくても必須でご記入ください。

※複数のクラブを担当している方で変更・解散をする場合は、コピーしてご使用ください

変更届 (該当する□にチェック(✓)のうえ、下表にクラブ名と変更後の内容のみをご記入ください)

クラブ名変更

人数・学年内訳変更

代表サポーターの連絡先変更

解散届 (「都道府県・市区町村」「クラブ名」のみご記入ください)

都道府県 (必須)	市区町村 (必須)	変更				
		変更前	増減	変更後		
<b>クラブ名(必須)</b>		メンバー人数 (こども)	+ ( ) 人 - ( ) 人	人		
【クラブ名変更の場合のみ記入】 変更前のクラブ名:		サポーター 人数	+ ( ) 人 - ( ) 人	人		
【内訳変更の場合のみ 記入】 メンバー学年内訳 ※変更後のすべてのメンバー の内訳をご記入ください。 ※高校生記入欄は、同年齢の メンバーも各学年にあては めて、記入してください。 サポーターとしても登録でき ます。	幼児(3歳)	人	幼児(4歳)	人	幼児(5歳)	人
	小学1年生	人	小学2年生	人	小学3年生	人
	小学4年生	人	小学5年生	人	小学6年生	人
	中学1年生	人	中学2年生	人	中学3年生	人
	高校1年生	人	高校2年生	人	高校3年生	人
【代表サポーター変更 の場合のみ記入】  代表サポーターの 連絡先	氏名		JEC 活動年数		年目	
	住所 〒		今年のはじめて登録する 場合、1年目と記入し てください。			
	TEL ( ) - ( )		FAX ( ) - ( )			
	E-mail					

## ●注意事項

・高校生はサポーターとしても登録できます(代表サポーターでの登録はできません)。

・本届にて解散を申請したクラブの登録情報は、(公財)日本環境協会のプライバシーポリシーに則り、迅速かつ適切に削除いたします。

### ●個人情報の取り扱いについて

公益財団法人日本環境協会(以下、弊協会という。)は、個人情報を尊重し、個人情報保護に関する法令及びその他関係法令を遵守するとともに、弊協会の個人情報保護基本方針に則って個人情報を取り扱います。

1. 個人情報の利用目的: 弊協会は、こどもエコクラブ事業(以下、本事業という。)を行うにあたり収集した個人情報を、ニュースレターや本事業の支援にかかる環境関連情報の資料等の配布、賠償責任保険等の運用上必要な情報管理、サービス等改善のための事業(アンケート調査を含む。)の実施、新たなサービスや環境関連情報の発信、その他当事業の実施に付随する業務を行う目的の範囲内で利用します。なお、利用目的の達成に必要な範囲で業者に業務委託することがあります。ただし、必要な項目を正しくご記入いただけない場合、適切な対応ができないこともございますのでご了承ください。2. 個人情報の共同利用: 収集した個人情報は、本事業の地方事務局として登録した都道府県及び市区町村と上記1.の利用目的においてのみ共同して利用します。3. 個人情報の管理: 収集した個人情報の漏洩、滅失、毀損または改ざんの防止、その他収集した情報の適切な管理を行います。また、事務局従業員及び業務委託先等に対して、個人情報の管理の指導と適切な監督を行います。4. 個人情報の訂正・削除・開示: 収集した個人情報は、ご本人から登録されている個人情報について訂正・削除・開示の請求があった場合は、迅速に対応します。第三者から開示の請求があった場合は、ご本人の承諾がない限り開示しません。ただし、個人情報保護法第23条第1項、第4項およびその他の法令の規定に基づく場合は、この限りではありません。情報の訂正・削除・開示を希望される場合は、弊協会こどもエコクラブ全国事務局までご連絡ください。



これまでこどもエコクラブで活動してきたことを  
を忘れないで、これからも地球にやさしい活動  
を続けよう!



# JEC 継続届

登録番号 ※この番号は全国事務局で記入します。

記入日: 年 月 日

こどもエコクラブ(Junior Eco-Club)

					-					
--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--

平成 26 年度  
↓  
平成 27 年度



I. 下記については必ずご記入ください。※引越しをされた方は必ず II (2) に新住所をご記入ください。

都道府県	市区町村		メンバー人数 (平成 27 年度スタート時点)	人	
現在のクラブ名			サポーター人数 (平成 27 年度スタート時点)	人	
メンバー人数内訳 ※年齢・学年は、平成 27 年 4 月時点をご記入してください。 ※高校生記入欄は、同年齢のメンバーも各学年にあてはめて記入してください。サポーターとしても登録できます。	幼児(3 歳)	人	幼児(4 歳)	人	
	幼児(5 歳)	人	小学 1 年生	人	
	小学 2 年生	人	小学 3 年生	人	
	小学 4 年生	人	小学 5 年生	人	
	小学 6 年生	人	中学 1 年生	人	
	中学 2 年生	人	中学 3 年生	人	
高校 1 年生	人	高校 2 年生	人	高校 3 年生	人
活動ツール選択 ※クラブ単位でいずれかを選び☑をしてください	<input type="checkbox"/> 不要 ※不要とした場合にも、代表サポーターには 1 部送付します。 <input type="checkbox"/> メンバーズバッジ のみ <input type="checkbox"/> 全ツール(こどもエコクラブ手帳、メンバーズバッジ、JEC プレス等) 必要				
今年度の主な活動 ※クラブの主な活動、取り組みたい活動分野に☑をしてください(複数可)。	<input type="checkbox"/> ごみ・リサイクル <input type="checkbox"/> 生活・省エネ <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 自然・生物多様性 <input type="checkbox"/> 農業・栽培 <input type="checkbox"/> その他( )				

II. 内容に変更がある場合には、該当する□にチェック☑してご記入ください。

□クラブ名変更⇒(1)へ □代表サポーターの連絡先変更⇒(2)へ □グループの種類⇒(3)へ

(1)新しいクラブ名			
(2)代表サポーターの連絡先 (活動ツール等送付先) 活動に役立つ情報を定期的に E メールでお送りしています。ぜひ、ご登録ください。	氏名		JEC 活動年数 年 月
	住所 〒		
	TEL ( ) - ( )	FAX ( ) - ( )	
	E-mail		
(3)グループの種類	<input type="checkbox"/> 近所や地域のお友達 <input type="checkbox"/> 家族・親戚 <input type="checkbox"/> ボーイ・ガールスカウト <input type="checkbox"/> 子ども会 <input type="checkbox"/> 児童館や公民館のクラブ <input type="checkbox"/> 自治体の募集 <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園 <input type="checkbox"/> 学校の(□クラス・□クラブ・□委員会・□学年・□全校 →学校名: ) ・総合学習として実施している→□YES・□NO * 異クラス混合の場合は「学年」へ、異学年混同は「全校」へ印をしてください。 <input type="checkbox"/> その他( )		

●個人情報保護方針について ● (公財)日本環境協会 (以下、当協会という。)は、個人情報を尊重し、個人情報保護に関する法令及びその他関係法令を遵守するとともに、当協会の個人情報保護基本方針に則って個人情報を取り扱います。

1. 個人情報の利用目的: 当協会は、こどもエコクラブ事業(以下、当事業という。)を行うにあたり、収集した個人情報を、本事業の支援にかかる環境関連情報の資料等の配布、賠償責任保険等の運用上必要な情報管理、サービス等改善のための事業(アンケート調査を含みます。)の実施、新たなサービスや環境関連情報の発信、その他当事業の実施に付随する業務を行う目的の範囲内で利用します。なお、利用目的の達成に必要な範囲で第三者に業務を委託することがあります。ただし、必要な項目を正しくご記入いただけない場合には、適切な対応ができないこともございますのでご了承ください。2. 個人情報の共同利用: 収集した個人情報は、本事業の地方事務局として登録した都道府県及び市区町村と上記 1. の利用目的においてのみ共同して利用します。3. 個人情報の管理: 収集した個人情報の漏洩、滅失、毀損または改ざんの防止、その他収集した情報の適切な管理を行います。また、事務局従業員及び業務委託先等に対して、個人情報の管理の指導と適切な監督を行います。4. 個人情報の訂正・開示: 収集した個人情報は、ご本人から登録されている個人情報について訂正・削除・開示の請求があった場合は、迅速に対応します。第三者から開示の請求があった場合は、ご本人の承認がない限り開示しません。ただし、個人情報保護法第 23 条第 1 項、第 4 項およびその他の法令の規定に基づく場合は、この限りではありません。情報の訂正・削除・開示を希望される場合は、当協会こどもエコクラブ全国事務局までご連絡ください。

・活動中の第三者への事故に対応するため、クラブの登録と同時に、全国事務局がメンバー・サポーターを対象とした賠償責任保険の加入手続きを行います。全国事務局への名簿提出はメンバー・サポーターともに不要ですが、賠償責任保険の手続き上、氏名・学年・性別等を記載した名簿をクラブで備えておいてください。  
 ・サポーターが複数クラブを担当している場合には、ツールの重複を避けるため、2 つ目以降のクラブではサポーター人数としてカウントしないでください。(クラブで備えていただく名簿には、氏名を記載してください。)  
 ・高校生は、サポーターとしても登録できます。(代表サポーターでの登録はできません。)

## ●提出先

こどもエコクラブ全国事務局もしくは地方事務局(こどもエコクラブを応援している都道府県・市区町村の窓口)へ  
 ※地方事務局は、こどもエコクラブウェブサイト内「お問い合わせ」でご覧いただけます。

## ○お問い合わせ先

こどもエコクラブ全国事務局(公益財団法人日本環境協会)  
 〒103-0002  
 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-16 馬喰町第一ビル 9F  
 TEL: 03-5643-6251 FAX: 03-5643-6250 E-Mail: j-ecoclub@eic.or.jp

## ■こどもエコクラブウェブサイト:

http://www.j-ecoclub.jp/  
 エコまるは公益財団法人日本環境協会の登録商標です





クラブ名(自治体の場合は部局名)

# の活動報告用紙

住所 〒 -				
サポーター名(自治体の場合は担当者名)*			TEL*	
			FAX*	
E-mail(事務局から連絡することがありますので、メールアドレスをお持ちの方は必ずご記入ください)*				
行った日* 年 月 日		行った場所*		参加人数 メンバー 人 サポーター 人
活動のタイトル			活動の種類:(○を付けて下さい。複数選択可) リサイクル・生活/水/ごみ・清掃活動/ 自然観察/大気/交流会/ その他( )	
活動の内容				
参加者の様子				
感想・気づいたこと・考えたこと				
その他				
ウェブサイト・ニュースレター・報告書への掲載 上記の活動報告(添付写真を含む)をこどもエコクラブウェブサイト、ニュースレター、その他こどもエコクラブ関連発行物に掲載することについて承諾していただけますか?なお、クラブ名のみ掲載を承諾された場合は、ウェブサイトのみでの掲載になります。また、*が付いている箇所はサイトには掲載されません。				
該当箇所に ○を付けてください。		掲載を承諾する	クラブ名のみ 掲載を承諾する	承諾しない

がんばりアースクラブのサポーター！  
みんなのを見守っているわ。

失敗することがあるけど、  
まじめなところで  
何でもチャレンジ！

やわらかいアタマで  
いろんなことを思いつくの。

なんでもとにかくやってみる！  
でももしあわてんぼうやねん。

あたたかいハートで  
みんなのころを  
やさしくするの。

がんばりアースクラブのリーダー。  
ちよつこのんびり屋なんだ。



エコまる

あったか  
ハート

かるい  
フットワーク

やわらか  
アタマ

チャレンジ  
こころ

エコねえ

## がんばり アースクラブ

こどもエコクラブの  
キャラクターです。  
エコねえと5人のなかまが、  
地球の環境を守るために  
活躍しています。

## こどもエコクラブ憲章

1. 私たちは、生命を生み、育んでくれる「水と緑の惑星・地球」を愛し、未来に引き継ぎます。
2. 私たちは、自分たちの暮らしや身のまわりの環境に関心を持ち、地球とともに生きていくための努力を続けます。
3. 私たちは、世界中のなかまと、手をたずさえて、地球を守るために活動を続けます。

私たちは、夢を忘れずに、夢を追い続けます。



## 秋田県こどもエコクラブ事務局

秋田県生活環境部 環境管理課 調整・環境企画班

〒010-8570 秋田県秋田市山王4-1-1

TEL 018-860-1571

FAX 018-860-3881



この冊子は1,000部印刷し、一部243.00円です。